

R2.4.17
ふつ々の生活が幸せ
西伊敷小5年
塘 遥希

今、世界ではく発的に
新型コロナウイルスの感
染者が増えています。感
染が確認された最初のこ

ろは他の国の話だったの
で、何となく「こわいな
大変そうだな」と思うく
らいでニュースを見てい
ました。

しかし、だんだん世界
中に広がり、日本でも感
染者が増えてきました。
ぼくたちの学校も3月に
急に休みになり、サツカ
ーの練習もできなくなり
ました。

ウイルスは目には見え
ず、どこににいるのか分か

”

当たり前前の幸せ

我慢の時

風向計

らないので、とてもこわ
いです。ぼくにできるこ
とは、手洗いやうがい、
なるべくでかけないよう
にすることぐらいです。

今はふつうに生活がで
きません。いろいろなこ
とが自由にできるこれま
での生活が、幸せなこと
なんだと感じています。
早く新型コロナウイルス
がなくなつてほしいと毎
日思っています。

(鹿児島市)

南日本新聞

「パンデミック」。ギリ
シャ語が語源で、世界中の
人に感染する可能性がある
病気が、大規模に流行して
いる状態を指す。新型コロ
ナウイルス感染症の拡大を
受け、世界保健機関(WHO)
が3月、この言葉を使
った。

日本では患者や死亡者が
増え続け、鹿児島県内でも
感染者が相次いでいる。治
療方法は確立しておらず、
先が見通せないことが混乱
に拍車をかけている。

日本が感染症に悩まされ
るのは今に始まったことで
はない。過去には疫病がは
やり、凶作もあいまつて治
安が悪化したこともある。

奈良時代に天然痘とみら
れる疫病が流行した史実を
題材にした小説「火定」(澤
田瞳子著)では、人間のさま
ざまな本性が描かれている。
命を救おうと奮闘する
医師。混乱に乗じて「おま
じない札」で一獲千金をも
くろむ人。善悪の差はある
が、えたいの知れない病に
振り回されている点は共通
している。どちらもまきれ

心遣う気

報道部長 三輪 住雄

R2.4.11

もない人間の姿だ。
そして令和の日本。根拠
のないデマによって、店舗
からトイレトペーパーが
消えた。ライブハウスにい
た人が複数感染したため、
ネット上では誹謗中傷の書
き込みが相次いだ。鹿児島
でも感染者を巡り、いわれ
のない差別や偏見が起きて
いる。

今回は学校が突然、長期
の一斉休校となり、子ども
たちも混乱の当事者となっ
た。多くの小中学生が、家
で1人で過ごすことを強い
られた。

そんな中、県内では児童
生徒らの面倒をみるボラン
ティアや、町内会放送で励
ましのメッセージを送る教
職員が登場。給食代わりに
弁当を安価で提供する店も
あった。不安な時に温かい
手を差し伸べてくれる大人
の姿は、子どもたちの脳裏
に刻まれたことだろう。

子どもたちは、大人がど
んなことをしてくれたか、
感染者に対してどのような
態度を取っているのか、そ
の言動をつぶさに見ている
はずだ。困難ともいえる災
厄ではあるが、せめて他人
を気遣う心を子どもたちに
伝える機会としたい。

南日本新聞